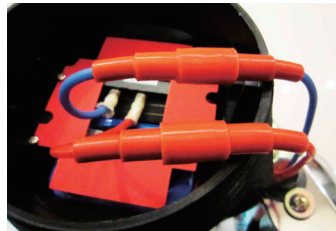
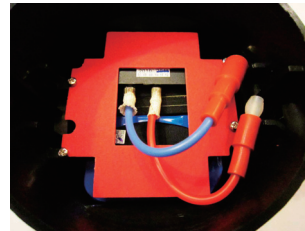


ダークバスターの航空機機内持込について

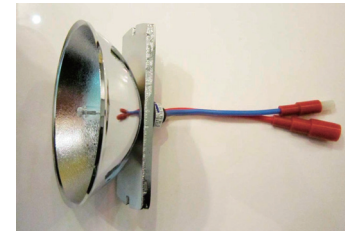
水中用ライト（スキューバダイビング用ライト）については、航空法および国際民間航空機関 (ICAO) が定めた関係規則により、バッテリーが本体から取り外されている場合のみ、機内持込が可能と定められています。本ダークバスターはリチウムイオンバッテリー内蔵タイプとなっており、バッテリーが取り外しできない構造となっています。そのため、航空機をご利用の際には機内持込、預け入れ、ともに不可能となっています。現時点での対応方法としては、バルブ（ランプ）を本体から取り外し、ライトを点灯しない状態にすることで機内持込を可能とする方法が認められるケースがあります。



①レンズをはずして、配線を引き出します。バルブと内部からの配線のコネクタが見えます。



②コネクタの真ん中を持ち、ゆっくりと引き抜きます。抜いた配線を中に収めます。



③はずしたバルブは割れないように、柔らかい物で包んでください。

※ただし、関係法令規則上はバッテリーを取り外すことが前提となっているため、上記方法では空港検査員によっては認められない場合もあります。ご了承ください。

※フロントレンズがかたく、はずすことができない場合、弊社にお送りいただければ、開放の上ご返送いたします。